

特記事項

(賃借人の責務)

- 第1条 賃貸人は、瀬戸市公共施設照明 LED 化賃貸借業務仕様書(以下「仕様書」という。)
8項記載の業務(以下「本業務」という。)を全て行う。
- 2 前項の規定にかかわらず、賃貸人は、賃貸人があらかじめ賃借人に提出したグループ構成表の内容に限り、本業務を、グループ又は複数の企業の共同体(以下「グループ等」という。)に分担させることができる。ただし、この場合においても、賃貸人は、そのグループ等の構成員が担当する業務を含め、業務全てについて、履行の義務を負うとともに、履行に伴い発生した損害賠償義務を負う。
- 3 賃借人は、本業務に基づく全ての行為を、賃貸人に対して行うものとする。ただし、賃借人は、賃貸人と協議のうえ、直接、グループ等の構成員に対し、必要な指示を行うことができる。
- 4 賃貸人が、グループ構成表に記載されていない者に本業務を行わせる場合及びグループ構成表の役割分担を変更する場合には、あらかじめ、賃借人の承諾を得なければならない。

(業務工程表)

- 第2条 賃貸人は、この契約締結と同時に、仕様書に基づいて業務工程表を作成し、賃借人に提出しなければならない。
- 2 賃借人は、必要があると認めるときは、前項の業務工程表を受理した日から7日以内に、賃貸人に対してその修正を請求することができる。
- 3 この約款の他の条項に基づき履行期間又は仕様書が変更された場合において、賃借人は、必要があると認めるときは、賃貸人に対して業務工程表の再提出を請求することができる。
- 4 第1項及び第2項の規定は、業務工程表の再提出について準用する。この場合において、第1項中「この契約締結時」とあるのは、「当該請求があった日から10日以内」と読み替えるものとする。
- 5 業務工程表は、賃借人及び賃貸人を拘束するものではない。

(貸与品等)

- 第3条 賃借人が賃貸人に貸与し、又は支給する図面その他業務に必要な物品等(以下「貸与品等」という。)の品名、数量等、引渡場所及び引渡時期は、賃借人と賃貸人とが協議して定める。
- 2 賃貸人は、貸与品等の引渡しを受けたときは、引渡しの日から7日以内に、賃借人に受領書又は借用書を提出しなければならない。
- 3 賃貸人は、貸与品等を善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。
- 4 賃貸人は、履行期間の終了、仕様書の変更等によって不用となった貸与品等を賃借人

に返還しなければならない。

- 5 賃貸人は、故意又は過失により貸与品等が滅失し、毀損し、又はその返還が不可能となったときは、賃借人の指定した期間内に代品を納め、若しくは原状に復して返還し、又は返還に代えて損害を賠償しなければならない。

(業務の中止)

第4条 暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地すべり、落盤、火災、騒乱、暴動その他の自然的な事象であつて賃貸人の責めに帰することができないものにより賃貸借物件を完成することができず、若しくは履行場所の状態が変動したため、賃貸人が業務を履行できないと認められるときは、賃借人は、業務の中止内容を直ちに賃貸人に通知して、業務の全部又は一部の施工を一時中止させなければならない。

- 2 賃借人は、前項の規定によるほか、必要があると認めるときは、業務の中止内容を賃貸人に通知して、業務の全部又は一部を一時中止させることができる。

- 3 賃借人は、前2項の規定により業務を一時中止した場合において、必要があると認められるときは、履行期間若しくは賃貸借料を変更し、又は賃貸人が業務の続行に備え業務の一時中止に伴う増加費用を必要としたときは必要な費用を負担しなければならない。

(臨機の措置)

第5条 賃貸人は、災害防止等のため必要があると認めるときは、臨機の措置をとらなければならない。この場合において、必要があると認めるときは、賃貸人は、あらかじめ賃借人の意見を聴かななければならない。ただし、緊急やむを得ない事情があるときは、この限りでない。

- 2 前項の場合においては、賃貸人は、そのとつた措置の内容を賃借人に直ちに通知しなければならない。

- 3 賃借人は、災害防止その他の業務を行う上で特に必要があると認めるときは、賃貸人に対して臨機の措置をとることを請求することができる。

(賃貸借物件完成後履行期間開始までの取扱い)

第6条 賃借人は、賃貸借物件完成後、履行期間開始までの間、賃貸借物件を無償で 사용할ことができる。

- 2 賃貸人は、前項の期間においても、仕様書に基づき、賃貸借物件の維持管理を行う。

(賃貸借物件の譲渡等の禁止)

第7条 賃貸人は、賃貸借物件（未完成の賃貸借物件及び業務を行う上で得られた記録等を含む。以下同じ。）を第三者に譲渡し、貸与し、又は質権その他の担保の目的に供してはならない。ただし、あらかじめ賃借人の承諾を得た場合は、この限りでない。

(履行期間満了後の賃貸借物件の取り扱い)

第8条 賃貸人は、賃借人に対し、履行期間満了日をもって、賃貸借物件を、無償譲渡するものとする。

2 履行期間満了日において、賃貸借契約書約款第28条は適用しない。

(長期継続契約)

第9条 この契約について、債務負担行為の議決を経た場合には、賃貸借契約書約款第31条は適用しない。

(遵守事項)

第10条 賃貸人は、書面にて別の定めをした場合を除き、瀬戸市公共施設照明LED化賃貸借業務公募型プロポーザル実施要領に基づき賃貸人が提出した資料記載の事項を遵守するものとする。

(違約金)

第11条 賃貸人は、前条、並びに、瀬戸市公共施設照明LED化賃貸借業務公募型プロポーザル実施要領、仕様書、特記事項及び賃貸借契約書約款に違反したときは、賃借人がこの契約を解除するか否かにかかわらず、違約金として、賃貸借期間における賃貸借料総額の10分の1に相当する額を賃借人が指定する時期までに支払わなければならない。ただし、当該違反が軽微なときを除く。

2 前項の場合において、契約保証金の納付が行われているときは、賃借人は、当該契約保証金をもって違約金の一部に充当することができる。

3 第1項の違約金は、損害賠償又はその一部と解釈しない。

(優先関係)

第12条 この契約の内容に矛盾が生じた場合には、瀬戸市公共施設照明LED化賃貸借業務公募型プロポーザル実施要領、仕様書、特記事項及び賃貸借契約書約款の順に優先して適用する。